

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》向谷地 生良

【概 要】

精神保健福祉領域におけるソーシャルワーカー実践は、他の領域と同様に個別援助、集団援助、さらにはコミュニティ支援の過程として一体的に展開されるが、わが国固有の課題である入院偏重や過剰病床、多剤多量問題、身体拘束に象徴される人権問題、地域移行支援に象徴される独自の課題をかかえており、精神障害者などの置かれた社会的な現状理解を踏まえながらあるべきメンタルヘルス分野のソーシャルワーク実践のあり方の在り方の基本を学ぶことになる。

【学習目標】

精神保健福祉の国際的な動向を理解し、我国の精神保健福祉の現状と課題を踏まえたソーシャルワーク実践の基本的考え方を理解する。

精神科リハビリテーションの歴史、概念、構成を理解し、ソーシャルワーカー（精神保健福祉士）がチームや地域における役割の展開の基礎を学ぶ。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	精神医療と精神障害者施策の歴史	・精神保健福祉施策の歴史的な変遷を学ぶ	向谷地
2	精神医療の動向とその課題	・国内外の精神医療の動向と我が国における精神保健福祉の課題を学ぶ	向谷地
3	精神障害における障害の構造	・精神障害の障害特性とそれを抱えて生きる人の “ 生きにくさ ” について学ぶ	向谷地
4	精神障害者へのソーシャルワーク実践の基本と理念	・ソーシャルワーク実践の精神保健福祉分野における展開の基本とそれを支える理念をリカバリーの概念に基づいて学ぶ	向谷地
5	精神障害者へのソーシャルワーク実践の展開	・精神障害を持つ人の生活課題、特に依存症などをかかえた人に対する具体的な実践の展開を事例に即して学ぶ。	向谷地 森 亨（特別講師）
6	精神障害者へのグループワークの基本と理念	・対人援助と並んで集団援助は、ソーシャルワーク実践の重要なアプローチの一つである。その基本と理念を精神保健福祉領域に即して学ぶ	向谷地
7	精神障害者へのグループワークの展開過程	・精神保健福祉領域における集団援助の展開の過程を S S T（生活技能訓練）など目的に即して学ぶ。	向谷地
8	精神障害者へのグループワークの実例（事例学習 1）	・精神保健福祉領域における集団援助を具体的な事例に即して学ぶ。	向谷地
9	精神障害者へのグループワークの実例（事例学習 2）	・精神保健福祉領域における集団援助を具体的な事例に即して学ぶ。	向谷地
10	精神保健福祉領域におけるコンサルテーションの理念と実際	・専門職間の相互関係のなかで、それぞれの専門を超えて行われる助言や支援等に関するコンサルテーションの理念と実際を学ぶ	向谷地
11	精神保健福祉領域におけるソーシャルワーク実践とスーパービジョン	・ソーシャルワーカーのための教育・訓練活動として位置づけられるスーパービジョンを精神保健福祉領域で展開するための基本と実際を学ぶ	向谷地
12	精神科リハビリテーションの理念、意義	・精神障害を持つ人の治療と回復に向けたリハビリテーションの理念について、その変遷とともに学ぶ	向谷地
13	精神科リハビリテーションと精神障害者理解の基本原則	・精神科リハビリテーションは、精神障害者理解と一体的に発展してきた。その基本原則をリカバリーの視点を交えて学ぶ。	向谷地
14	わが国の精神科リハビリテーションの歴史	・精神科リハビリテーションのはじまりと、その変遷から今日の精神科リハビリテーションの意義を学ぶ	向谷地

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
15	わが国の精神科リハビリテーションの現状と未来	精神科リハビリテーションを取り巻く医療・保健・福祉の現状を知ることによって、今後のあるべき姿を考える	向谷地
16	諸外国の精神科リハビリテーションの現状と課題	海外における精神科リハビリテーションの現状を知り、我が国の精神科リハビリテーションの在り方を考える	向谷地
17	精神科リハビリテーションの対象としての当事者理解の基本	リカバリーの視点に基いた当事者理解を学ぶ	向谷地
18	精神科リハビリテーションの対象としての当事者理解（事例学習１）	実際の支援事例に基づき、精神科リハビリテーションにおける当事者理解を学ぶ	向谷地
19	精神科リハビリテーションの対象としての当事者理解（事例学習２）	実際の支援事例に基づき、精神科リハビリテーションにおける当事者理解を学ぶ	向谷地
20	精神科リハビリテーションの対象としての家族理解の基本	リカバリーの視点に基づいた精神科リハビリテーションにおける家族理解の基本を学ぶ	向谷地
21	精神科リハビリテーションの対象としての家族理解（事例学習１）	実際の支援事例に基づき、精神科リハビリテーションにおける家族理解を学ぶ	向谷地 北川聡子（特別講師）
22	精神科リハビリテーションの対象としての家族理解（事例学習２）	実際の支援事例に基づき、精神科リハビリテーションにおける家族理解を学ぶ	向谷地
23	精神科リハビリテーションの基本原則と技法 その１	精神科リハビリテーションにおける基本的な理念と原則、それに基づいた具体的な技法の基本を学ぶ	向谷地
24	精神科リハビリテーションの実際（認知行動療法）その２	精神科リハビリテーションプログラムとして注目されている認知行動療法の基本と実際を学ぶ	向谷地
25	精神科リハビリテーションの実際（心理教育）その３	精神科リハビリテーションプログラムとして注目されている心理教育の基本と実際を学ぶ	向谷地
26	精神科リハビリテーションの実際（アウトリーチ）その３	精神科リハビリテーションにおける重要なアプローチであるアウトリーチの基本と実際を学ぶ	向谷地
27	精神科リハビリテーションにおけるソーシャルワーカーの役割と意義	精神科リハビリテーションのプロセスにおけるソーシャルワーカーの果たす役割の基本を学ぶ	向谷地
28	チーム医療と連携におけるソーシャルワーカーの役割	精神科リハビリテーションの基本であるチームアプローチと連携におけるソーシャルワーカーの果たす役割の基本を学ぶ	向谷地
29	精神科リハビリテーションにおけるソーシャルワーカーの共通技術	ソーシャルワーカーの共通技術であるミクロ、メゾ、マクロ的な対象に向けた援助技術の基本を再確認する	向谷地
30	まとめ	一年にわたる基礎的な学習を振り返り、「理論と方法論」に向けた橋渡しとなる学習をする	向谷地

【評価方法】

受講態度10%、試験90%により総合的に評価する

【備考】

教科書：精神保健福祉の理論と相談援助の展開（中央法規）

参考書：べてるの家の非援助論（医学書院）

その他：この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格習得のための「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」に該当する

【学習の準備】

テキストについては、事前に読み、疑問点や質問したいことをもって講義に臨むこと。

予習は、次回の授業で行う学習内容について読み込み、理解できたことや疑問点などを明確にしておくこと（80分）。

復習は、授業で取り上げた学習内容について振り返り、理解を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,4

【実務経験】

精神保健福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

40年にわたる精神保健福祉領域の医療機関、地域生活支援の現場での臨床経験に基づき、グローバルな視点から個人の自立のテーマに至るまで、精神障害者支援の課題の基礎的知識を講義する